



地区補助金事業報告

広島空港ロータリークラブ

プロジェクト名

社会福祉法人 みどりの町 (障害者支援施設) に AED(自動体外式除細動器)を寄贈

プロジェクトの概要

社会福祉法人みどりの町には、大和農園、大和学園の2つの障害者支援施設があり、約80名の障害者が生活しています。彼らの中には、高齢であったり、病弱であったりと何らかの支援を受けながら生活されている方々が多く、体の容体が急変する場合も考えられます。心肺停止に陥った場合、AEDにより蘇生が可能であり、救急時に大変役立つ器具で、障害者にとっても施設にとっても有効なものであると考え寄贈を行うこととしました。



みどりの町 ホームページより

平成24年8月8日 法人本部において、広島空港ロータリークラブよりAED(自動体外式除細動器)を寄贈していただきました。大下知男会長から、植木章弘理事長に目録を渡され、続いて大和学園藤原美代子自治会長がAEDを受け取られました。施設で暮らす利用者の方も年々高齢化・重度化しており、万が一利用者の生命に危険が生じた際の備えにこのAEDが大きな役割を果たしてくれるものと期待しております。早速、障害者支援施設大和学園に備え付け、大切に使用させていただく予定です。

ご寄贈いただきました広島空港ロータリークラブの皆様方には心からお礼申し上げますとともに、貴会のますますのご発展と会長様をはじめ会員の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。



大和町「みどりの町」にAED寄贈
— 広島空港ロータリークラブ —
広島空港ロータリークラブ(大下知男会長、会員24人は、このほど社会奉仕活動の一環として、三原市大和町の社会福祉法人みどりの町(植木章弘理事長)へ、AED(自動体外式除細動器)を寄贈した。
みどりの町は、大和農園、大和学園の2つの障害者支援施設があり、約80名の障害者が生活している。利用者の中には、高齢で病弱な方も多く、心肺停止に陥った場合でもAEDにより蘇生が可能となる。

大下会長(右から2人目)から植木理事長(左端)へ贈呈

(2012年8月23日芸陽日日新聞掲載)